

# 入稿データ作成時の注意事項(1/2)

## 1. 入稿形式・データサイズについて

- 入稿データは、可能な限りai形式（Adobe Illustrator形式）でご提出ください。  
PDF形式でご入稿の場合、色味について事前確認を行う場合があります。
- 入稿データは必ず仕上がりの原寸サイズで作成してください。

## 2. レイヤー構成について

- ガイド線、デザイン、白版はそれぞれレイヤーを分けて作成してください。  
レイヤーが整理されていない場合、ガイドが印刷されたり、白版とデザインが正しく重ならず、意図しない仕上がりになる恐れがあります。
- すべてのデザイン要素はデザインレイヤー内にまとめて配置してください。

## 3. カラー設定について

- データは必ずCMYKカラーモードでご入稿ください。
- CMYKの各数値は整数値のみを使用し、小数点以下は設定しないでください。
- 黒ベタ部分の面積が広い場合は、C:70%／M:68%／Y:67%／K:90%での設定を推奨します。

## 4. 文字・線の設定について

- 文字はすべてアウトライン処理を行ってください。
- 文字サイズは5pt以上、線の太さは0.5pt以上で作成してください。

## 5. 画像データについて

- 画像データは必ず埋め込み配置で作成してください。
- 画像解像度は300ppi以上を推奨しております。

## 6. トンボ・塗り足し・配置ルール

- デザインデータは実寸サイズで作成し、必ずトンボ（トリムマーク）を付けてください。
- 塗り足しは、仕上がりサイズより上下左右各3mmずつ確保してください。
- 文字や画像は、シールの仕上がりサイズより内側に配置してください。印刷範囲の制限はありませんが、断裁線から最低5mmの余白がない場合、仕上がり時に欠ける恐れがあります。

# 入稿データ作成時の注意事項(2/2)

## 7. カット・加工指示について

- 切り取り線は片面のみに入れることを推奨します。両面に配置すると、カット位置がずれる可能性があります。
- 切り口（ノッチ）の位置は、上部から10mm以降で指定可能です。チャック付きの場合は、ノッチ中心からチャック中心まで最低10mmの間隔を確保してください。
- 吊り下げ穴を設ける場合は、上部から最低5mm以上離して配置してください。また、吊り下げ穴がある場合のノッチ位置は、穴の下端からノッチ中心まで最低4mmの間隔を確保してください。

## 8. 表示・その他注意事項

- プラマークを表示する場合は、6mm×6mm以上のサイズで配置してください。
- 内容物の充填方向についても、必ずデータ内に明記してください。